

13トリソミーと18トリソミーのある

こどもたちのミライ

みんなで考える

日時 2024.11.10 日
14:00~17:00

会場 長野県立こども病院
大会議室

講演1：古庄 知己先生

(信州大学医学部遺伝医学教室・教授)

(信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター・センター長)

「13トリソミー、18トリソミーのこれまでと今、そしてこれから」

講演2：櫻井 浩子先生

(18トリソミーの会・会長、東京薬科大学薬学部生命医療倫理学研究室・教授)

「18トリソミー アップデート」

講演3：小島 明子先生

(13トリソミーの子供を支援する親の会)

「13トリソミーを持つ子どもの親からの提言」

講演4：根本 慎太郎先生

(大阪医科大学外科学講座胸部外科学教室・専門教授)

(大阪医科大学附属病院小児心臓血管外科・科長)

「個性豊かな13トリソミーまたは18トリソミーのあるこどもたちが、
家族と一緒に毎日が送れるために心臓手術が出来ること」

講演5：Deborah Bruns先生

(南イリノイ大学教育学部特別支援教育プログラム・名誉教授)

「Changing the narrative on trisomy 18 and
13 through an international database」

講演6：John C. Carey先生

(ユタ大学小児科・教授、SOFTの創設者のお一人)

「Perspectives on the evolving approach to the care of
children with the trisomy 13 syndrome
or the trisomy 18 syndrome」

主催 信州大学医学部遺伝医学教室および信州大学、長野県立こども病院連携大学院
【お問合せ】0263-37-2618

共催 18トリソミーの会、13トリソミーの子供
を支援する親の会、Team 18、18トリ
ソミーの子どもを持つ親の会18っこのわ

後援

長野県立こども病院、信州大学医学部、
信州大学医学部附属病院、長野県小児保健協会、
日本小児遺伝学会